



## 伊野南小学校

### ◆中学校の職場体験

今年も5月13日から3日間、伊野南中学校から3名の生徒が職場体験に来てくれました。それぞれ低・中・高の教室に分かれて子どもたちの支援に携わってもらいました。中学生たちは、最初に思い描いていた小学校の教師への憧れとは違って、3日間を終えた後、先生たちの大変さが少しでも分かったようです。中には、「僕は、小学校の教師は無理だと感じました。中学校の社会科の先生なら・・・。」という男子生徒もいましたが、反対に子どもたちと接することによって、益々教師への憧れが強くなったという女子生徒もいました。頼もしい限りです。これ



から21世紀を担う子どもたちの育成に向けて、1日も早く教職の道を歩んでほしいと期待するばかりです。

### ◆子どもはプール開き！ 保護者は救急法！



6月9日からプール開きとなりました。児童は、この日が来るのを今か今かと待ちわびていました。子どもたちは、プールいっぱいに入っている水を見て大はしゃぎ。昨年より少しでも泳力が伸びることを期待しています。

P T A行事の一つである「救急法」では、6月の参観日終了後に、夏休みのプール監視を行うために仁淀消防署の皆さんよりA E Dの使い方や人工呼吸の仕方について講習を受けました。一人ひとりの命を守るために保護者や教職員達も皆真剣な

様子で取り組んでいました。



## 神谷小中学校

### ◆ノート見本市で、

### 家庭学習の成果を確認

神谷小中学校では、中学生の定期テスト期間に合わせて、小中学生が一緒にやって家庭学習強化週間「きらりんウィーク」に取り組んでいます。今年も、第1回目を5月22日～29日に実施しました。この期間は、小学生も、テレビを見ない日や、ゲームをしない日を決め、時間の目標を立てて家庭学習に取り組めます。学習内容は、毎日の宿題だけでなく、自分で課題を見つけてノートにまとめることにも挑戦しています。

「きらりんウィーク」終了後の6月3日には、お互いのノートの使い

方や学習内容を学び合うために、全校集会「ノート見本市」を開きました。ノート見本市では、体育館に並べた全員の自主学習ノートをみてまわった後、お互いに気が付いたことを発表しましたが、「今度からは、○○さんのように、もっと難しい漢字を使ってノートを書いていこうと思います。」「小学1年生は、とても文字を丁寧に書いていて、絵も上手でした。」「中学生のノートは色や線の使い方がうまく、僕も大事などころは線を使ってまとめていこうと思います。」など、学習方法で参考になった点や、お互いの頑張りを評価しあうことができました。第2回目は2学期に実施する予定ですが、家庭学習が一層充実するよう、これからも日々の取組を大切にしていきたいと思います。

